

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

## 市のコロナウイルス対策対応

保守の会は保健所・市民病院をバックアップ

基本的に、安倍総理の要請と東京都の動向に従って町田市は対応します。そのため町田市議会は第1定例会を開催中で、最終日を3/30とし、特例で代表質疑18日、一般質問を無くし、個人質疑22日+予備日、常任委員会25-26日+予備日と言う変則日程に変更。



視察の成果を今後の質問・質疑に活かす。

## 町田市議会に初の女性議長

今期に議会内の役選があり、新議長に、女性議員では初めて熊沢あやり議員が選ばれ、第37代の議長に就任しました。副議長には、おく栄一議員が就任しました。

私は、第35代議長を務めた以降、基本的に議会内で無役です。所属の委員会は総務常任委員会から建設常任委員会に回りました。



## ゼルビア無償貸付に反対

今期の第一定例会初日において、地元プロサッカーJ2チームの「ゼルビア」に町田市がタダで土地を貸す議案が提出され、私はそれに反対しました。

議案名が「土地の無償貸付について」と題した第36号議案が追加議案として突然に出されました。幾人もの議員が不思議に思い、様々な質疑をしていました。これまで、町田市は学校などにスポーツクラブを作り、市民を対象に有料で使用する方針を推し進めてきましたが、こと、ゼルビアに限っては、町田市はサービス精神が旺盛で、三輪緑山1丁目1番地40,888.51㎡の土地を5年間にわたってタダにするものでした。

その後、討論では不思議な賛成討論がありました。冒頭に「賛成」の言葉はありましたが、発言の99%は議案内容に反対する内容でした。失礼ながら、議場には理事者を含めた失笑が起きていました。ちなみに、「発言者本人は、本来、議案に反対したかった」としか思えないものでした。もし、そうであれば、大変気の毒です。私は、市長にもゼルビアにも付度無い態度を保持し、市政の公平性を保つために、ただ一人反対しました。



そのクリーンセンターで実施の水防訓練を現在で見学した際に自分で撮影した写真

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」 [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## 学校給食視察：熱々の二重食缶

「保守の会」は八戸市に会派視察を実施し、小中学校の学校給食をセンター方式（市内3カ所）で調理して、副食品、汁物を熱々で搬送している、八戸市教育委員会の学校給食を現地で視察・試食体験しました（給食センター内で設備説明、試食体験、さらに、給食直前の時間に学校施設設備の見学）視察した施設では、1日に10000食近くの給食（副食）を製造していますが、設備のラインを各々2つに分け、別の副食製造に振り分けていました。多様な地元産品の食材を学校給食に充てるためとのことでした。



町田市の給食弁当方式と、八戸市の方式で大きく異なる点は、八戸市は副食品・汁物を温かいまま（あるいは冷たいまま）に、二重になった真空容器の「汁食缶／給食缶」に入れて搬送する方式を導入している点です。それを車載用のコンテナに収納し、各学校の倉庫まで納め、各階に配るところまでを業者委託としていました。学校内には、給食の搬入室と各教室のフロアーが昇降機（ダムウエイター）で搬送できる点が特徴で、昼休み前に、配膳員の方が教室の近くまで搬送してくれます。保管室への返却も配膳員の方が担当しています。熱々の昼食を実現し、児童・生徒の昼休みを確保する重大な意味合いもあります。

## 自衛隊の哨戒業務と災害出動

海上自衛隊八戸航空基地（第2航空群となり、海将補 瀬戸慶一氏の指揮）を視察で訪れました。主要な業務には、P-3C哨戒機による我が国周辺海域における警戒監視等の任務に当たることとの説明を受けました。このP-3C哨戒機の部隊は、国内4カ所、首都圏では厚木基地、九州の鹿屋基地、他に沖縄那覇の基地があるそうです。P-3C哨戒機の離着陸は、他の飛行場でも可能だそうですが、機体のメンテナンスは設備上、これらの基地に限られるとのことでした。

P-3C哨戒機は、主任務の警戒監視のほか、民間機、船舶（漁船を含む）の事故などの際、救援捜索を先行して実施する部隊になっています。航続距離が長いことで、遠洋漁業の船舶事故に関して最初に駆けつける部隊となっています。近年では、平成30年北海道胆振東部地震などに際し、上空探索の出動がありました。TVニュースにもなる、中東地域の海賊対処の海外派遣のほか、民生協力では北方の海氷観測を行い、予報作成の情報提供を行っているとのことでした。



海将補 瀬戸慶一氏が同席されて視察

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。